

富士見台小だより

特別号

2025年2月21日
調布市立富士見台小学校
TEL042 (481)7640
校長 小俣 弘子

「令和6年度の教育活動に関する調査」アンケートについて（報告）

「令和6年度の教育活動に関する調査」（学校評価アンケート）について、ご報告をさせていただきます。

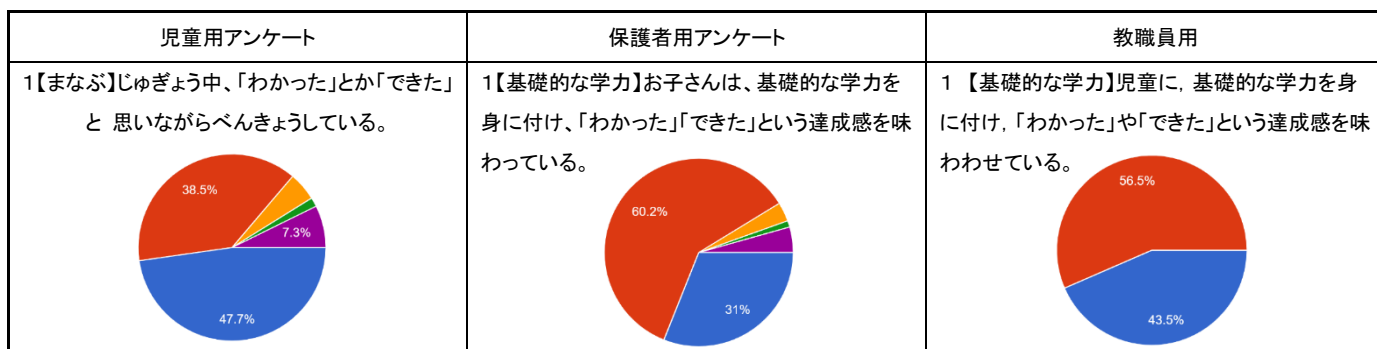
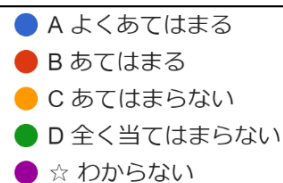
保護者の皆様にはご多用の中、貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

本調査では、児童・保護者・教職員の三者で同じ内容のアンケートを実施しています。それぞれの質問項目の回答を比較する中で見えてきた成果や課題、評価結果に特徴がみられる設問等について考察しました。以下、結果と考察をまとめましたのでご覧ください。これらを踏まえ、次年度の教育計画を立案しております。なお、教職員の回答につきましては、正規教員以外の講師等の職員も含まれております。

集計方法 Google Form による回答

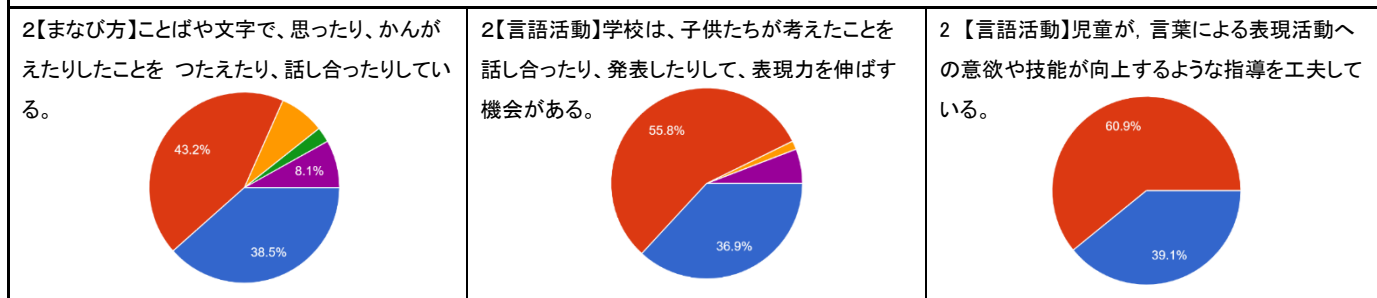
肯定的評価・・・「A よくあてはまる」と「B あてはまる」を合わせた割合

肯定的評価が85%以上を「よい評価」と捉えて学校の考察を示しております。



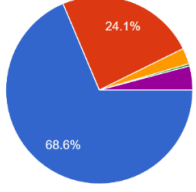
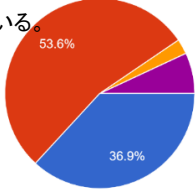
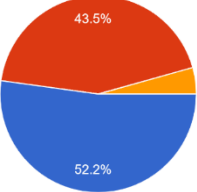
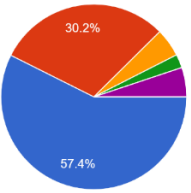
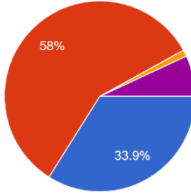
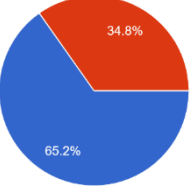
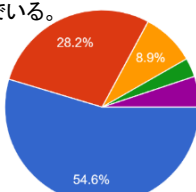
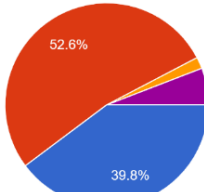
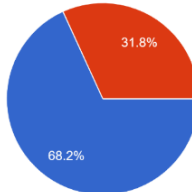
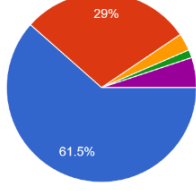
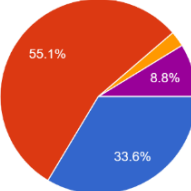
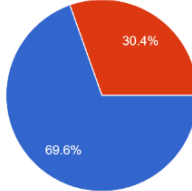
肯定的評価 児童86.2% 保護者 91.2%

分かりやすい発問や板書、教材教具の工夫、ICTの活用、個に応じたワークシートなどの工夫を取り入れることで児童の「分かる・できる」につなげてきました。児童、保護者ともC・D評価と「分からない」が1割程度いることから、一人一人の学習状況をつかみ個別最適化した学びを実践できるようにすすめてまいります。また、教員の一人一人の授業力向上のため、OJT研修等学びの機会を継続的・定期的に設定してまいります。



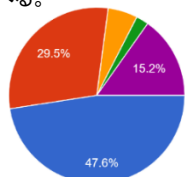
肯定的評価 児童81.7% 保護者92.7%

主体的で対話的な授業展開、自分の考えを表現する機会の設定が授業の中で定着してきています。しかし、昨年度より児童の肯定的評価が4%ほど下がりました。教えられるだけでなく、自ら考えたことを話し合い、考えを広げたり高めたりすることが児童の思考力、判断力・表現力を伸ばすために求められています。今後、授業の中で、このような活動を積極的に取り入れ、児童自ら問題解決を行い、分かったことを表現する授業展開を重視していきます。

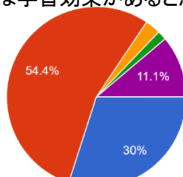
3【ICT 機器の活用】じゅぎょう中、アイパッドをベ んきょうにつかえている。 	3【ICT 機器の活用】学校は、iPad やプロジェク タなどの ICT 機器を積極的に活用しながら教育 活動を行っている。 	3 【ICT 機器の活用】iPad などの ICT 機器を積 極的に活用しながら教育活動を行っている。 
肯定的評価 児童92.7% 保護者92.5% これからの社会を生き抜く子どもたちにこの ICT を活用する力を育成することは重要な課題として取り組んでおります。一人 1 台タ ブレット端末は児童の学習用具の一つとして定着しています。学級で一斉に使う授業だけでなく、調べ学習や考えの発信のツールとし て、自分で選択して活用することができてきています。また、学習の定着を図るため、アプリを使ったドリル学習も取り組んでいます。板 書を書き写す際には児童の実態に応じてノートだけでなくタブレット端末を選択できる場も作ってきました。学校として、学年で共通した 使用、年間計画に基づいた活用を行い学級での差がないように努めてまいります。教員の ICT 研修を数回行い、授業での積極的な活 用をすすめてまいりました。		
4【健康教育】からだをうごかしたり、しっかりたべ たりして、けんこうなからだをつくらうとしている。 	4 【健康教育】学校は、体育的な活動の充実、 保健や食育の指導を推進し、健やかな体をつく る取組を行っている。 	4 【健康教育】体育的な活動の充実、保健指導 の実施、食育の推進などを通して、児童が健康 で健やかな体をつくる取り組みを行っている。 
肯定的評価 児童87.6% 保護者91.9% 晴れた日は、外遊びを推進していて、多くの児童が活発に遊んでいます。体力向上の取組として、体育の時間の準備運動として 3 分 間走を全学級に取り入れています。食育として給食時には、班で食べることでマナーを意識したり、楽しく会食したりする活動を取り入 れました。また、継続して「今日の献立に関するミニ知識」等を毎日伝えることで、食への関心を高めることができました。		
5【読書活動】あじさい読書月間、もみじ読書月 間や、まい週木よう日の読書タイムを通して、よ く本を読んでいる。 	5 【読書活動】読書月間や読書集会、毎週木曜 日の読書タイム等を実施し、読書活動を充実さ せている。 	5 【読書活動】読書月間や全校用み聞かせ、毎週木曜 日の朝の読書タイム等を確実に実施し、読書活動を充 実させている。 
肯定的評価は、児童 82.8% 保護者92.4% 昨年度より児童3%・保護者7%ほど評価が上昇しています。毎週の読書タイム、読み聞かせ、読書月間の取組など継続して行っ てきました。今年度の新しい取り組みとして読書目標が達成した児童に学期末に賞状を渡したり、保護者の方による読み聞かせを行っ たり、図書委員会による集会を行ったりと一人一人の読書への関心を高める取組も行っておりました。		
6【体験的な学習】学校のじゅぎょうで、いろい ろなところに見学に行ったり、ゲストティーチャー におそわたりして、くわしく学べている。 	6【体験的な学習】ゲストティーチャー（地域や企 業等方から学ぶ）の活用や校外学習など体験的 な学習等を充実させている。 	6 【体験的な学習】ゲストティーチャー（地域や企 業等方から学ぶ）の活用や校外学習など体験的 な学習等を充実させている。 
肯定的評価 児童90.5% 保護者88.7% 昨年度と比べ保護者が4%ほど上昇しています。各学年で体験活動、見学、出前授業、ゲストティーチャーをおよびしての出前授業等、 地域や外部の人材の活用を率先して行いました。特に「歩行者シミュレーター」「自転車シミュレーター」「防災士によるワークショップ」 「ICT モラル授業」等専門の方による安全教育を行いました。教員の授業だけでなく、このような社会とつながる授業を取り入れること で、児童の知識や技能を高めるだけでなく、新しい視点や課題を発見する機会、自分の行動につなげる機会となりました。また、様々な		

大人に会う機会は、これからの生き方を考える機会ともなっております。本取組は、今後も継続して行ってまいります。ゲストティーチャーを招くに当たり、地域学校協働本部のコーディネーターの方に様々なご協力をいただいております。

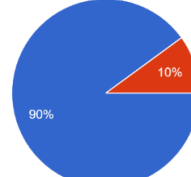
7【算数】(3～6年生のみお答えください)
算数の授業で、コース別に分かれて学習すると、よく学べる。



7【算数習熟度別指導】(3～6年生の保護者の方のみお答えください。)算数の授業で習熟度別による指導は学習効果があると思う。



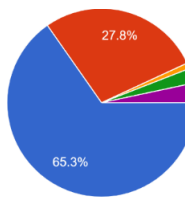
7【算数習熟度別指導】算数の授業で習熟度別による指導は学習効果があると思う。(3～6年生の指導)



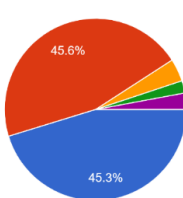
肯定的評価は、児童77.1% 保護者84.4%となりました。

昨年度に比べ児童の評価が7%下がり「分からない」と回答した児童が増えています。「分からない」と回答した児童はグループに分かれる有効性をあまり感じていないのではないかと考えます。習熟度別グループに応じた指導方法の工夫し授業改善を行っていく必要があります。じっくり学ぶグループでは基礎基本の定着を図るための工夫、学習ペースが速いグループでは発展的な内容の問題を取り入れる工夫など、どのグループでも「分かる・できる・楽しい」と思える授業展開を目指して行ってまいります。そのためには、教員が児童の実態をつかみ、それに応じた指導ができるよう教員間で高めていくことが今後の課題です。

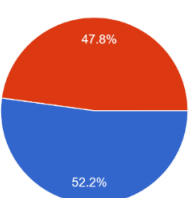
8【学校は楽しい】学校には たのしいことがある。



8【学校は楽しい】お子さんは、学校に友達がい
たり、日常生活を楽しみにしたりしながら学校に
行っている。



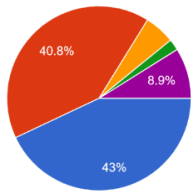
8【学校は楽しい】多くの児童が、学校に友達がい
たり、日常生活を楽しみにしたりしながら学校
に来ている。



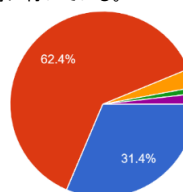
肯定的評価は、児童93.1% 保護者90.9%

児童・保護者とも評価が上昇しています。児童の多くは、A評価「よくあてはまる」となっています。学級が安心した居場所、友達との絆づくりの場所となるように互い認め合える雰囲気を大切にして いじめにつながる言葉や行動があれば早期に丁寧に対応し、いじめは徹底してなくす指導を行うことも教職員で共通理解して取り組んでまいります。教員は、児童の変容を見とるアンテナをしっかりともち、対応する力をつけるための研修も引き続き行ってまいります。

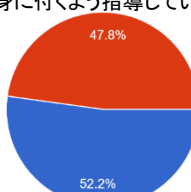
9【ルールを守る・基本的生活習慣】学校のきまりやじかんとまもることができている。



9【規範意識・基本的生活習慣】お子さんは、学校のきまりや生活のルールを守る意識をもっており、基本的生活習慣が身に付いている。



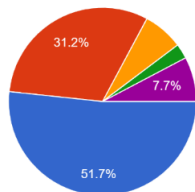
9【規範意識・基本的生活習慣】児童に、学校のきまりや約束を守る意識をもたせ、基本的生活習慣が身に付くよう指導している。



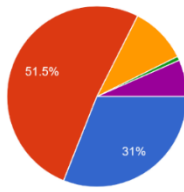
肯定的評価は、児童83.8% 保護者93.8%となりました。

昨年度より児童・保護者とも評価が上昇しています。今年度より、学校の「学習＆生活のルール」を10項目に整理し、教員が継続して指導を行うよう月末に振り返るシートを用いて生活指導力向上に努めました。児童には、何のためにこのルールを守るのかを考える機会を設けるとともに、ルールやマナーについての意識の向上を図ってきました。毎週金曜日に教職員で行っている生活指導夕会では、その週の児童の様子を振り返り情報共有をしております。安全な生活、周りのことを考えた行動ができるように指導方針を教員で共通理解し、各学級で児童に伝達するようにしています。

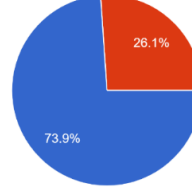
10【あいさつ】自分は、よくあいさつをしている。



10【あいさつ】お子さんは、よくあいさつをしている。



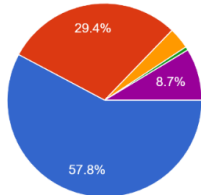
10【あいさつ】子供たちはよくあいさつをしている。



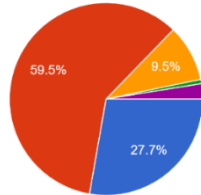
肯定的評価 児童は、82.9%

昨年度より児童の評価が4%ほど評下がりました。日常の様子からは、「おはようございます」「こんにちは」など自分から言っている児童が多いです。しかし、自分から声を出して伝えることが苦手な児童もいます。「おはよう」と声を掛けられたら会釈して返すことから続けられるよう取り組んでまいります。「あいさつ運動」や「あいさつ名人」等の取組で、「〇〇先生おはようございます」と名前を呼んだり、一言付け加えて挨拶したりすることに挑戦した児童が増えました。挨拶は、「相手を大切にする行動」として、引き続き推進してまいります。周りの大人が、どれだけあいさつでかかわり、コミュニケーションをとることができているかということも、大きく影響してくると思います。教職員、地域・保護者の方と力を合わせ、挨拶を大切にする児童を育成していきたいと考えております。

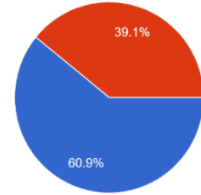
11【ICT 機器のルール】学校のアイパッドのルールをまもれている。



11【ICT 機器のルール】学校が示した ICT 機器のルールを参考にしながら家庭において iPad 等の ICT 機器や SNS の使い方についてのルールをお子さんに守らせている。



11【ICT 機器のルール】学校が示した ICT 機器のルールを児童に守らせている。

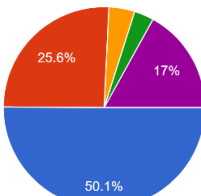


肯定的評価は、児童87.2% 保護者87.2%

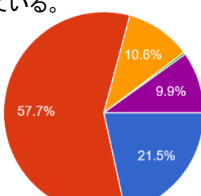
昨年度と同程度の評価です。iPad のルールについて全校で毎月朝の時間を使ってモラルの指導と使用方法の確認をしております。その際に活用している「iPad を使う時のルール」を年度当初に配布し、タブレットバッグの中に常時入れております。

児童の実態として、教具の一つとして日常的な使用が定着した分、操作に慣れ技能が向上する中で、学習に関係のない使い方、設定を変える等ルールを守れていないことがありました。iPad の使用方法だけに限らず情報モラルの指導を現状に応じて充実させ、安全で有効な使い方になるよう指導してまいります。

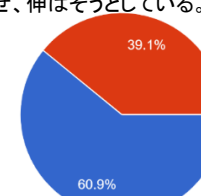
12②【よさ】自分には、よいところがある。



12③【自己肯定感】お子さんは、自分のよいところが分かっている。



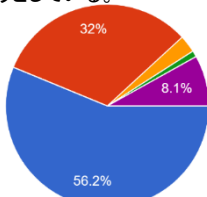
12②【自己肯定感】児童一人一人に自分のよさに気付かせ、伸ばそうとしている。



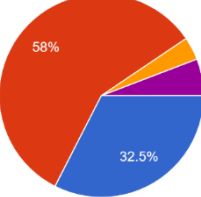
肯定的評価 児童 75.6%

否定的な児童は少ないですが、「分からない」と回答した児童が昨年度より多くいることが分かりました。A 評価「よくあてはまる」が半数になったことはよい評価と捉えています。「分からない」と回答している児童はもちろん、児童全体にこれからも一人一人のよさを認め、褒めたり励ましたりする活動を重視してまいります。そして、一人一人に自分に自信をもたせる工夫、よさをその子自身に実感させる活動を行ってまいります。

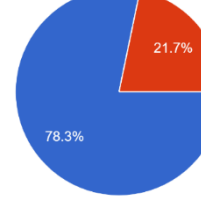
13【自他を愛する】自分とほかの人は ちがいがあることがわかっている。また、自分もほかの人も大切にしようとしている。



13【自他を愛する】お子さんは、自分と他者では違いがあることが分かり、自分も友達も大切にしている。



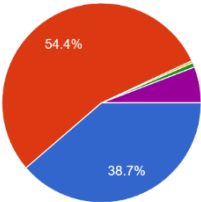
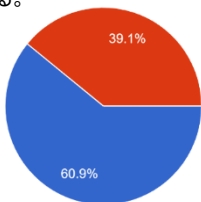
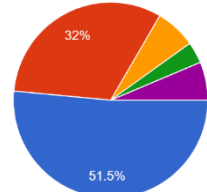
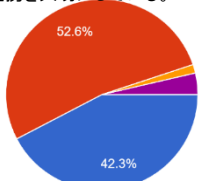
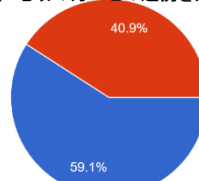
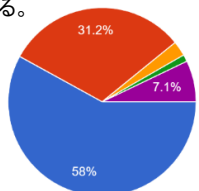
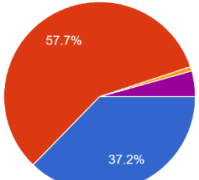
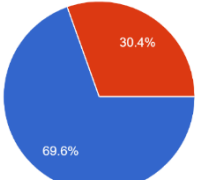
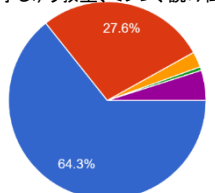
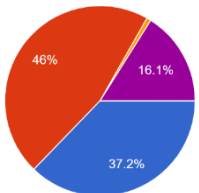
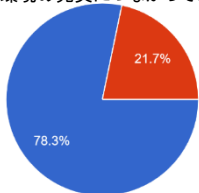
13【自他を愛する】児童に、自分と他者とは違いがあることを理解させ、多様性を尊重して自他を大切にできるように指導している。



肯定的評価 児童88.2% 保護者90.5%

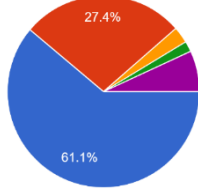
自他ともに大切にする取り組みとして

- ・相手を大切にしたいあいさつ ・授業や生活の中での認め合い ・たてわり班活動などの異学年交流・かしわ学級との交流
- ・道徳等を通じての人権教育（一人一人を大切にする 違いがある 差別をしない）・人権デーについての講話
- ・いじめ、差別、偏見を許さない心の育成 に努めてきました。今後も、継続し児童の豊かな心を育てていきます。

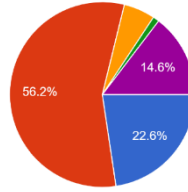
	14【開かれた学校】学校行事や授業公開、地域や保護者の方による授業支援などを通して、開かれた学校を目指している。 	14 【開かれた学校】学校行事や学校公開、保護者による授業支援などを通して、開かれた学校を目指している。 
肯定的評価 保護者94.9% 今年度も保護者の方に月に1回はお来校いただける機会を設定しました。毎回、ご参観いただき誠にありがとうございました。 PTAの方々には、運動会や交通安全教室などのさまざまなお手伝いやバックアップ、給食試食会、ドッジビー大会、学区安全マップの製作など学校の教育活動や児童の健全育成のためにご協力いただきました。 また、保護者の方には校外学習の引率補助、各教室の読み聞かせなど多くのご協力をいただきました。ご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。 学校開放委員会による地域運動会や桜まつり、健全育成委員会の夏祭り(今年度は中止)やソフトボール大会、ジュニアサブリーダー等の取組は、児童にとって地域のよさを実感する機会となっております。あいさつ運動にもご協力いただいています。		
15【情報発信】おうちの人に、学校であったことをつたえている。 	15【情報共有】学校便り、すぐる、ホームページ、classroom、保護者会等を通して、保護者・地域の方に情報を提供し、連携を大切にしている。 	15 【情報発信】学校だより、すぐる、ホームページ、classroom、保護者会等を通して学校の様子や情報を発信し、保護者・地域の方々の連携を大切にしている。 
肯定的評価は、児童83.5% 保護者94.9% となりました。 各学級等によるクラスルームでの連絡、画像や動画等の情報発信に取り組んでまいりました。また、学校ホームページ、学校便り、すぐるの充実も行っていました。今後も、地域・保護者の方と情報を共有し、児童を育てていきたいと考えています。ご家庭におきましては、お子さんと一緒にクラスルームをご覧になり今日頑張ったことなど共有し励ましていただければと思います。		
16【安心・安全】さいがい時のひなのしかたやあんぜんなすごし方をまなんでおり、あんぜんにすごせている。 	16【安心・安全】学校は、子供の安心・安全な生活のため、避難訓練や安全指導などを通じて知識や実践力を身に付けさせたり、校内施設を安全に保とうとしていたりしている。 	16 【安全安心な環境】児童の安心・安全な環境を整えるために、校内施設や設備等を安全に保とうとしていたり、児童に安全に関する知識や実践力を身に付けさせたりしている。 
肯定的評価は、児童89.2% 保護者94.9% 避難訓練時に児童自身もまじめに取り組んでいる自覚があると考えます。今後も、自ら判断して身を守る行動が取れる児童に育てていくことを大きな目的として取り組んでまいります。避難訓練では、実効的な想定と避難方法を考え、実践を積み重ねていきます。災害時だけでなく、生活、交通に関しての危険を予測し安全な行動がとれるように学習を行ってきました。昨年度保護者の方に「災害時対応マニュアル」を配布いたしました。卒業時まで保管ください。		
17【地域学校協働本部】学校には先生がいに、学校をささえている人がいることを知っている。(クラスでのペンきょうのお手伝い、かん字けんてい、花だんの草とり、ほうかご学しゅう教室、ミシン、読み聞かせなど) 	17【地域学校協働本部】地域学校協働本部の活動(授業ボランティア・放課後学習教室・漢字検定・畑の整備など)が、教育活動や教育環境の充実につながっている。 	17 【地域学校協働本部】地域学校協働本部の活動(漢字検定、学年園等の整備、地域人材を活用したボランティア・ゲストティーチャー、放課後学習教室など)が、教育活動や教育環境の充実につながっていると思う。 
肯定的評価 児童91.9% 保護者83.2% 地域学校協働本部の取組は、毎日の学習支援員の派遣、放課後学習、漢字検定、ゲストティーチャーの派遣等、日々の学校教育を支えていただいております。また、ボランティアとして毎朝、オレンジのベストを着て児童の登校の安全を見守ってくださっています。「地域に開かれた学校、地域とともに育つ子ども」を目指して、今後も連携を深めてまいります。地域学校協働本部のコーディネーターの方		

の運営の素晴らしさ、児童を温かく見守ってくださり活動に心より感謝申し上げます。

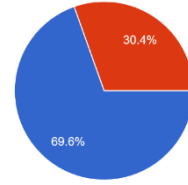
18【相談体制】こまったことや、なやみがあれば、たんにんの先生いがいいにも、そうだんできる人がいることをしている。



18【相談体制】学校は、お子さん一人一人のニーズに合わせた、相談しやすい体制を整えている。



18 【特別支援教育】必要に応じ、スクールカウンセラーや特別支援教育コーディネーターなどの人材を活用し、児童一人一人のニーズに合わせた教育を行っている。



肯定的評価は、児童88.5% 保護者78.8%

保護者の肯定的評価が7%ほど上昇しました。内訳として「分からない」という回答が減少しました。今年度は、学校便りでの相談窓口での紹介、「カウンセラー便り」を通じての相談方法の紹介、3学期の希望制個人面談の設定を行ってきました。児童にとっては、概ね相談しやすい環境になっているといえますが、「当てはまらない」「分からない」と回答している児童もいるため、担任だけに限らず周りの大人にだれにでも、相談してもよいことを継続して伝えてまいります。地域学校協働本部で行っている放課後学習教室では、地域の方とのおしゃべりを楽しんだり、相談をしたりする児童もいることが分かりました。学校・保護者・地域という広い受け皿で児童の困り感に寄り添う体制を今後も大切にまいります。

また、来年度より調布市立小中学校の全体の取組として「こころの健康観察」というアプリを使って毎月、相談したいこと、聞いてほしいことなどを記入できるシートを取り入れることとなりました。児童の心の変容に早期に気付けるよう努めてまいります。

<自由意見>

ご意見・ご感想を多数いただきました。いただいたものを教員で共有し今後の参考としています。また、日頃の教育活動での取り組みについて、多くの保護者の方から教職員への感謝の言葉、お褒めの言葉をいただきました。教職員にとって何よりの励みとなり、子供たちのために頑張る気持ちがさらに高まりました。ありがとうございました。ご要望の中ですぐ改善できることは、3学期から行っております。いくつかの要望について以下のとおり回答いたします。

教科担任制・担任について

【要望①】

- ・担任の先生だけでなく広く他の先生から学ぶ機会、相談できる体制が充実できるとよいと思います。そのためには、教科によるチーム担任制を導入するとよいのではないのでしょうか。都内でも他校の実践があると聞いています。
- ・担任の先生によって生活指導や学習指導の力に差があると感じます。
- ・若い先生へ周りの先生たちのフォローが必要だと思えます。

【回答】これまで学年間で交換授業等を行ってまいりましたが、来年度よりご意見の通り一部教科担任制を取り入れることの実現に向けて、現在全校の時間割編成に取り組んでいます。来年度は4～6年生を中心に時間割に位置付け、他の学年も児童の実態に応じて交換授業等、担任だけでなく複数の教員が児童の指導に関わるよう工夫してまいります。併せて、若手教員の日々の育成と、児童の見守りを行いながら改善に向けて取り組んでまいります。

タブレット端末について

【要望②】タブレットが毎日の持ち物なので、荷物が重いようです。

【回答】ご家庭での充電や活用のご協力、ありがとうございます。基本的に宿題に関係のない教科書やノートは毎日学校に置いて帰っています。全学級、この「置き勉」の取組が徹底できるよう気を付けてまいります。

【要望③】タブレットでのドリル学習では、操作ミスで不正解になることがあり、使いづらい様子です。

【回答】アプリの改善を要望しておきます。また、解決策の一つとしてタッチペンの活用があります。タッチペンは、お子さんの実態に応じてご家庭で購入し、学校に持ってきてよいことになっておりますので、ご検討ください。タッチペンの管理は、お子さんで行ってもらうこととなりますので、紛失等にご注意ください。

【要望④】学習以外の使用をしないようもっと規制をかけてほしいと思います。

【回答】タブレットの仕様は、調布市教育委員会が設定し、それに応じて学校で指導しております。児童がルールやモラルを守れることを前提として、仕様の問題点の改善要望を行ってまいります。最初の画面や保存データに関しては、毎月学校で担任との確認を継続して行っています。

お便り・すぐる等について

【要望①】学校だより等のお知らせの中での締め切り日を統一されていない時がありました。

【回答】準備をお願いしている中、申し訳ございませんでした。今後気を付けてまいります。

【要望②】学校便り等を配信しているのはよいのですが、体裁をスマホで読みやすくしてほしいです。

【回答】スマホでも紙でも読みやすいように、次のような改善をしております。

・紙面を2段組みに ・字体をUD(ユニバーサルデザイン)フォントに ・行事等の画像も挿入
今後も、ニーズに合うよう改善に努めてまいります。

【要望③】すぐるでのお知らせ(市や学校)は、重要でないものとそうでないものが混在しているので分かるようにしてもらいたいです。

【回答】基本的に、すぐるでの配信は、全てお読みください。保護者の方によって重要であったりそうでなかったりするものがあると思いますが、情報提供が必要と判断したものは、基本的にすぐるで配信を行ってまいります。すぐるの機能として「重要」「緊急」「注意喚起」などのマークを学校は付けるようにしておりますので、ご確認ください。

【要望④】子どもが学校便りや献立表をクラスルームでも見たいと言っています。

【回答】3学期より毎月、クラスルームから学校ホームページの添付への案内を行うようにしました。

【要望⑤】担任からのクラスルーム配信について

宿題や予定のお知らせがいつ来るか、何度も確かめていて宿題に取り掛かれないときがあります。
一週間分の予定が欲しいです。

【回答】児童が帰宅後、宿題や次の日の準備にすぐ取り掛かれるように、配信時刻に気を付けてまいります。一週間分の予定をお伝えしていない学年については、児童の実態に応じて毎日行っています。今後検討し改善してまいります。

その他

【要望①】休み時間に必ず外に出るというルールではなく、ときには中で過ごすという選択肢があるとよいと思います。

【回答】休み時間は「外で遊ぶ」ことを基本としています。外に行かない場合には図書室で過ごしたり、係や委員会活動があり教室で過ごしたりすることも行っています。ご指摘の通り中休みか昼休みのどちらかは外に行くことを基本として教室でゆっくり過ごしたい、先生に相談したいなどの気持ちに配慮してまいります。なお、担任が休み時間に教室を離れなければならない時もあり管理の面で、教室で過ごせないこともあることをご了承ください。

【要望②】授業公開で道徳が多いので他の授業が見たいです。教室が混むので、平日に行ってほしいです。

【回答】様々な授業を見ていただくよう計画いたします。3月の授業公開でも道徳以外を設定しております。

また、保護者会前に授業公開を行い、平日開催を行ってまいります。

【要望③】避難訓練時に着用している防災頭巾に代わってヘルメットを着用させたいです。

【回答】学校では、頭全体と首を守る防災頭巾を現在使用しています。ヘルメットを着用させたい場合には、置き場所の問題から折り畳み式(防災ヘルメット)の物をご準備いただけますと助かります。また、着脱を自分でできるようにご家庭で練習をお願いいたします。

2月8日(土)に行われた学校評議委員会、学校関係者評価委員会におきまして、委員の皆様アンケート結果を共有し、下のとおりのご要望、ご感想をいただきました。

- ・日々の指導の取組の成果が表れているので、引き続き学校が成長できるように頑張してほしい。
- ・学童や放課後学習でも宿題の連絡がクラスルームで届いてなく、困ることがありました。できれば、1週間分の宿題が分かっていると計画的に進めることができると思います。
- ・児童の悩みや困りごと、いじめに関することなどの相談体制を今後も強めていってほしい。
- ・地域の支援員として教室に入ることがありますが、若い先生が成長していく様子を見ています。
- ・先生方が、元気で仕事に取り組んでもらえるようにしていただきたいです。

保護者の皆様、今年度も日々ご支援とご協力をいただき誠にありがとうございました。

今後も児童一人一人の成長を目指して、教職員一同努力してまいります。